

令和7年度 3学期終業式 式辞

みなさん、おはようございます。そして、進級おめでとう。

先週3月9日、進級判定会議が行われました。先生方から皆さんのこの1年間の学習成果について報告を受け、改めて一人ひとりの頑張りを確認しました。当日は担任の先生からの連絡をドキドキしながら待っていた人、逆に連絡がなくて不安に感じた人もいたかもしれません。しかし今日、こうして晴れて進級の日を迎えられた皆さん、まずは自分自身に拍手を送ってください。本当によく頑張りました。

今日は1年間の総まとめの日です。このあと教室で受け取る通知表を、各自でしっかりと振り返ってください。特に「5段階の評定」や「出欠状況」は重要です。評定はいわば「大学入試のパスポート」です。推薦入試などを活用する際、高校時代の成果は皆さんの大きな武器になります。

もっと「欲」を持ってください。提出物の期限を守ることはもちろん、資料を読み込み、自分の考えを表現する力を磨きましょう。課題に割く時間を効率化しつつ、中身を深める「まとめる力」をより一層身につけてほしいと思います。

さて、2週間後には4月がやってきます。新3年生のうち、学校斡旋での就職を希望する人は、いよいよ就職指導がスタートします。大学進学を目指す人は、志望校選びを具体化させ、実現に向けて粘り強く取り組んでください。今この瞬間も、後期日程で第一志望合格を目指し、最後まで戦っている先輩たちがいます。「何を学び、研究したいのか」という目的意識を持ち、そのための基礎学力を高めていきましょう。

ゴールデンウィーク頃からはオープンキャンパスも始まります。入試を「ゴール」と捉えるのではなく、その先の学びを見据えた継続的な学習を進めてください。先日卒業した先輩の中には、周囲が決まっていく中で焦りを感じながらも、憧れの大学を諦めず、一般入試で合格を勝ち取った人がいました。得意を活かして道を拓いた人もいます。諦めずに学びを継続すれば必ず道は拓ける――。先輩たちはその姿で、皆さんにエールを送ってくれています。

最後に、少し別のお話をします。最近ではWBCでの侍JAPANの活躍に、皆さんも胸を熱くしていることでしょうか。選手たちがヒットを打った際に見せる「お点前ポーズ（ペッパーミル・パフォーマンス）」が話題ですね。

「点」を取る競技と、お茶を「点」てる仕草。実はこれには共通点があると感じます。ヒットを繋いでダイヤモンドをかき混ぜ、かき乱す様子が、お茶を攪拌（かくはん）する動作に重なることから広まったそうです。茶道では、客人に抹茶を点てることを「一服差し上げる」と言います。ただ飲み物を出すのではなく、身なりを整え、心を込めてその一杯を捧げる。その背景には、相手を思いやり、自らの心を整えるという精神的な価値があります。

この「道を究める人の所作」は、今の皆さんにも必要なものではないでしょうか。身だしなみを整え、落ち着いて物事にあたり、一つひとつを丁寧にこなす。静寂の中で集中力を高める。

そんな所作を、ぜひ日々の生活に取り入れてみてください。

思考を整え、仲間と切磋琢磨しながら、大冠高校を「誰もが居心地の良い空間」にしていきましょう。マラソン大会で見た粘りや、調べ学習で見た独創的なアイデア……そんな豊かな個性が集まるのが、この学校の素晴らしいところです。

3週間後には、41期生が入学してきます。この春休み、公式戦や遠征を控えている人、創作活動に打ち込む人、それぞれが大冠の先輩としての自覚を持ち、充実した日々を過ごしてください。

新学期、皆さんが怪我なく、良き先輩として元気に登校してくることを期待しています。皆さんの笑顔と挨拶で始まる新しい1年を楽しみに、終業式の式辞といたします。